

麻薬事故届			
免許証の番号 (記号を含めた番号を記入)	麻第1234号	免許年月日 (有効期間開始日を記入)	② 令和〇年〇月〇日
免許の種類 麻薬管理者			
麻薬業務所 名 称	所在地 ○□市△△		
	名称 広島県立やくむ病院		
事故が生じた麻薬 ③	品名 フェントステープ1mg	数量 1枚	
事故発生の状況 事故発生年月日 場所・事故の種類	令和〇年〇月〇日、調剤室内に置いていた〇〇が所在不明となった。 次の事項も記入すること。 (1) 事故発生年月日には、可能な限り発生した（と思われる）時間を含める。 (2) 事故の発生状況については、5W1H式に詳しく記入させる。（別紙による記入可。） (3) 回収状況		
上記のとおり、事故が発生したので届け出ます。			
令和〇年〇月〇日 住 所 （法人にあっては、主たる事務所の所在地） ④ 口□市〇〇〇〇 氏 名（法人にあっては、名称） 県庁 太郎 ※押印不要			
広 島 県 知 事 様 （保健所設置市及び 県保健所管轄での盗取、所在不明、強奪、脅取、詐欺等の場合） 広島県〇〇保健所長 様			

チェックリスト

- ① 麻薬営業者・麻薬管理者（※）（麻薬管理者のいない施設は麻薬施用者）・麻薬研究者の正しい免許証の番号、免許年月日、免許の種類が書いてある。

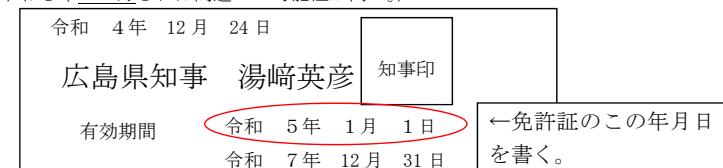
※事故を起こした医師の施用者免許ではないので注意。

「麻 第〇〇〇〇〇号」、「西東 第〇〇〇〇〇号」のように免許証の正しい記号が書いてあることを確認する。

- ② 免許年月日は免許の有効期間の最初の日が書いてある。

免許発行日ではないため、注意する。

（令和〇年12月〇日は間違いの可能性が高い。）



- ③ 事故が生じた麻薬の正しい品名・数量が書いてある。

減失の場合、回収不能だった量を計算して記入する。

また、点滴の流出等の場合は、麻薬換算した量をmL単位で記入する。

ただし、アンプル製剤の破損事故の場合、一部回収できたとしても事故の数量は「1A」のようにアンプル単位となるため注意する（トレーの上で全量回収できた場合は、麻薬廃棄届となる）。

- ④ 正しい届出者の住所・氏名が書いてある。

届出者は①で記入した麻薬営業者・麻薬管理者（麻薬管理者のいない施設は麻薬施用者）・麻薬研究者となっているか確認する。

法人たる開設者の代表者や医療機関等の院長ではないので、注意する。

